

きせき

議会だより

No. 173



篠栗小学校運動会



平成24年9月議会号

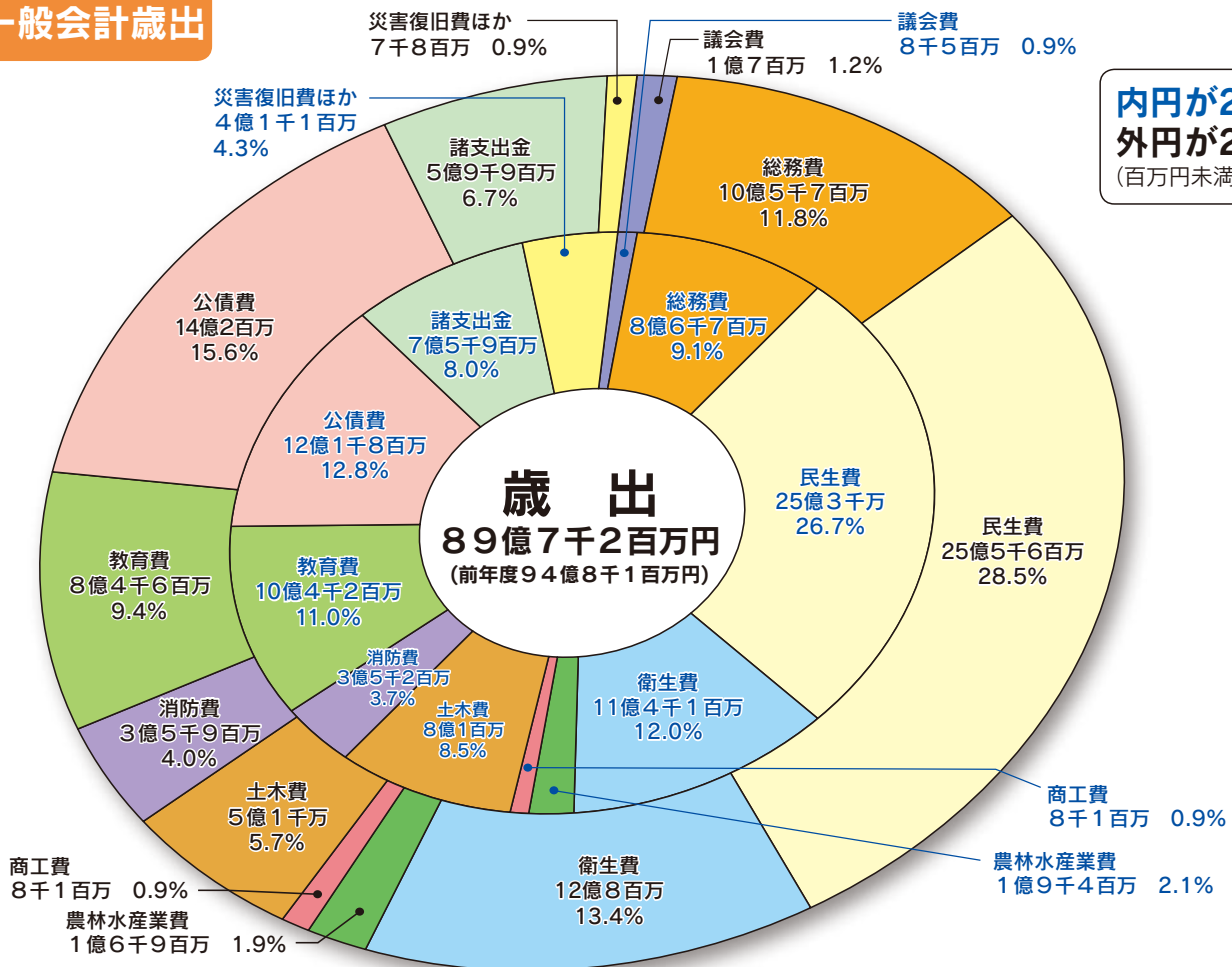
皆さんのお金はどのように使われました (決算認定) …	2
9月定例会議案の審議 ……………	5
研修報告 ……………	8
ここをどうする!?(5人が一般質問) ……………	9

4365万円

22年度比 2億2724万円(1.6%)の減額

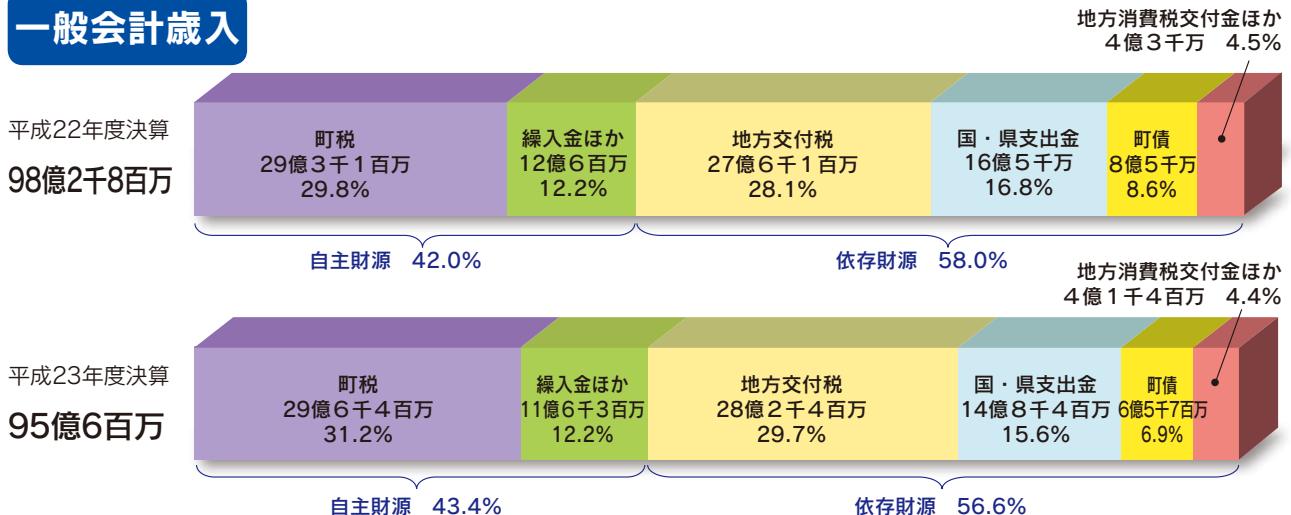
平成23年度決算は、議長、議会選出の監査委員を除く10人の議員で構成する決算審査特別委員会を設置し、9月18日・19日の2日間の審査の後、原案どおり認定しました。

一般会計歳出



内円が22年度
外円が23年度
(百万円未満四捨五入)

一般会計歳入





歳出

137億

一般会計・特別会計総額

歳入 141億2577万円

特別会計決算

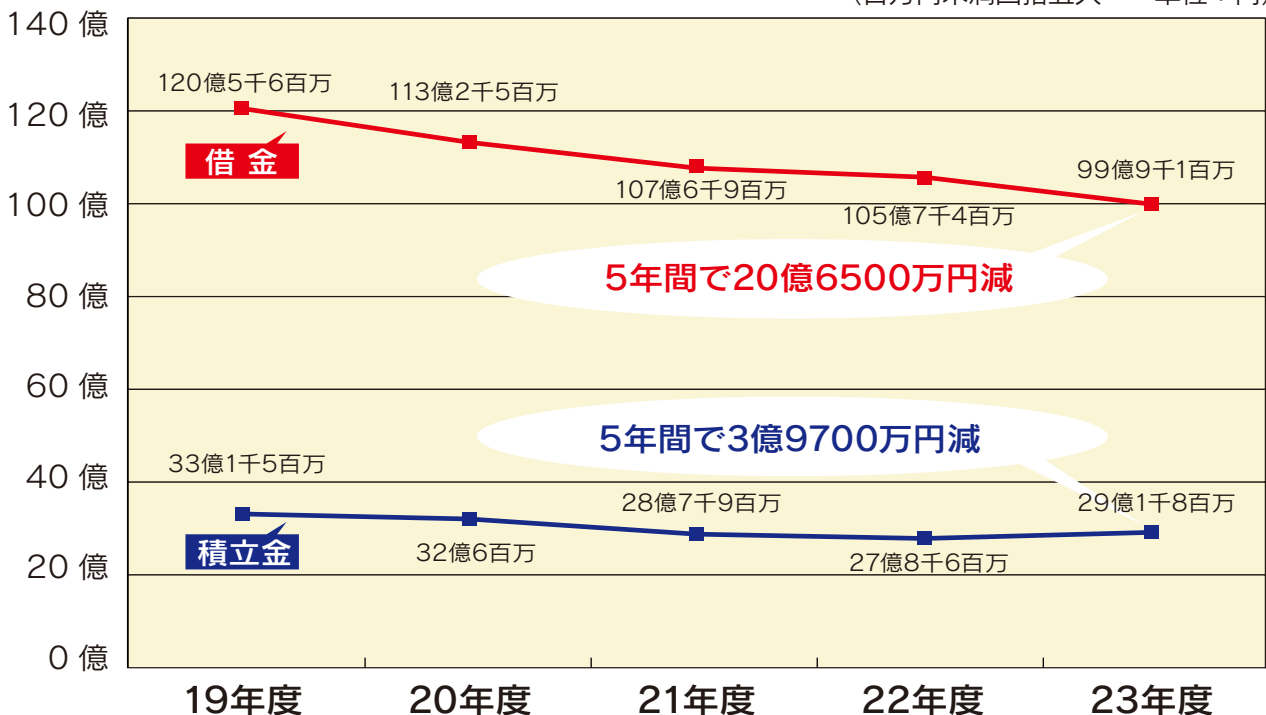
(百万円未満四捨五入 単位：円)

会計	決算額		対前年度増減	
	歳入	歳出	歳入	歳出
国民健康保険	29億1900万	29億6600万	2億5000万	2億2900万
後期高齢者	3億700万	3億200万	1500万	2300万
公共下水道	8億9500万	8億8600万	▲ 2400万	▲ 2700万
水道事業	4億9900万	6億1700万	1800万	5700万
合計	46億2000万	47億7100万	2億5900万	2億8200万

一般会計分

借金と積立金の変化(平成19年度～23年度)

(百万円未満四捨五入 単位：円)



23年度の主な事業 (金額は万円未満四捨五入)



▼カブトの森公園東側法面地すべり対策工事 (2140万円)



▲オアシス篠栗バイオマスボイラー設置工事 (9314万円)
木質チップを燃料とするバイオマスボイラーを導入

▶葬祭場2階百合の間等改修工事 (1321万円)
利用率を上げるため、既存の控室を撤去し80人規模の式場に改修



- ▶呑山公衆トイレ新築工事 (2160万円) : かきがら牡蠣殻バイオマスを使用した循環型水洗トイレ
- ▶第2浄水場電気設備更新工事 (5198万円) : 耐用年数の20年を経過していたため設備を更新
- ▶北勢門小学校校舎・体育館外壁改修工事 (4043万円) : 施設の老朽化により改修

平成23年度 決算審査報告

一般会計・特別会計・水道事業会計

篠栗町監査委員

福原 和男

大楠 英志

審査の結果

平成23年度一般会計および特別会計歳入歳出決算額は、関係諸帳票および証憑書類と合致して、決算計数は正確であることを確認した。

平成23年度水道事業会計決算諸表は、いずれも地方公営企業法に準拠して作成されており、その計数は正確で経営成績および財政状況を適正に表示していると認められる。

また、予算の執行・収入支出事務の処理および財産管理についても概ね適正である。しかし、財政運営の一層の健全化が求められている。

9月定例会
日程:9/10~21

小学6年生まで 入院医療費助成を拡大

9月議会では、決算認定1件、人事案件2件、条例改正1件、工事契約2件、補正予算3件、水道事業会計剰余金の処分1件が町長から上程され、全員賛成または賛成多数で承認、可決されました。また、請願1件の提出と、議員全員による意見書案の発議がありました。議案等に対する賛否一覧を7ページに掲載しています。

篠栗町幼児医療費の支給に関する条例の一部改正

- 改正の内容は、
1. 題名を「篠栗町幼児・子ども医療費の支給に関する条例」に改める。
 2. 助成対象者を小学校就学前の者から小学校6年生までの者に拡大する。
 3. 助成対象者のうち、小学生については「入院のみの助成」とする。
- 施行期日は、平成25年4月1日です。委員会の中で、条例の題名について、「子ども」より「児童」のほうが適当ではないか、との意見がありました。

防災行政無線の工事契約

- 本議案は、篠栗町防災行政無線（同報系デジタル化）整備工事について、次のように契約を締結するため議会の議決を求められたものです。
1. 契約の目的
篠栗町防災行政無線（同報系デジタル化）整備工事
 2. 契約の方法
指名競争入札
 3. 契約金額
3億3千6百万円
 4. 契約の相手方
福岡市博多区御供所町1-1
日本電気株式会社
九州支社
支社長 紫尾淳一

社会体育館改修工事の変更

篠栗町社会体育館改修工事について、梁（はり）の追加、工事進捗に支障をきたす付替え工事や施設の不具合箇所の補修工事を行ったことにより、工事請負費を796万6350円増額し、総額5962万6350円で株式会社淺沼組 九州支店 執行役員支店長 田島 茂文と、変更契約を締結するものです。

なお、設計当初では、地盤の隆起により、床との隙間が15cm程度しかなく、床下の状況確認ができなかったとのことです。

委員からは、変更契約はやむを得ないかもしれないが、もう少し設計段階からチェックすべきではないか、などの意見がありました。

教育委員会委員に林氏



林 巖氏（和田区）

現委員の棚橋 利昭氏が本年9月30日をもって任期満了のため、新委員の選任に同意しました。

提出された請願

第3回定例会に提出された請願は、次の1件です。

○「少人数学級推進」、「義務教育費国庫負担制度拡充」を国の関係機関に求める意見書提出に関する請願

（提出者）

一ノ瀬 治茂氏

※この請願は文教厚生常任委員会では審査、本会議で採択され、関係機関に意見書を提出することに決まりました。

地球温暖化対策に関する意見書の提出

議員全員による発議により意見書案が提出、可決され、関係機関へ送付しました。意見書の要約を掲載します。

記

二酸化炭素吸収源として最も重要な機能を有する森林の整備・保全等を推進する市町村の役割を踏まえ、「地球温暖化対策のための税」の一定割合を、森林面積に応じて配分する「地方財源を確保・充実する仕組み」を早急に構築する。

補正予算

一般会計補正の主なものは、表1および表2のとおりです。
 国保特別会計、後期高齢者特別会計の補正は、主に医療費に対する拠出金等の額の確定や、保険料・滞納繰越額の確定等によるものです。
 それぞれの補正額および補正後予算額は、表3のとおりです。

(表1) 歳入の主なもの

(万円未満四捨五入 単位:円)

国庫支出金(社会資本整備総合交付金等)	249万
県支出金(農村環境整備事業費補助金等)	1500万
繰越金	3億8036万
臨時財政対策債	△ 521万
自然災害防止事業債	8600万
普通交付税	2758万

(表2) 歳出の主なもの

(万円未満四捨五入 単位:円)

民生費・衛生費における国県補助金返還金	2658万
乳幼児医療対策費 システム変更委託料	263万
ポリオ予防接種事業委託料	1185万
池の端区・極楽池維持補修工事	3100万
地すべり対策費(山手区・田ノ浦線、鳴淵萩尾線)	8600万
町道整備費(乙犬切通・中園線交差点部分の改良等)	5500万
河川改良費(多々良川井堰の塗装塗り替え、和田地区水路の井堰を自動転倒にするもの等)	1740万
消防団の県消防操法大会出場にともなう訓練手当	404万
公債費(借金)の繰上償還	2億7047万

(表3)

(万円未満四捨五入 単位:円)

会計	補正額	補正後予算額
一般会計	5億 662万	103億 893万
国民健康保険特別会計	7037万	31億8657万
後期高齢者医療特別会計	1129万	3億5236万

荒廃竹林再生に着手

森林が持っている水源のかん養・土砂災害の防止・観光の拠点となりえる景観の形成等の公益的機能をより発揮させるため、荒廃した竹林で私有林のうち、町が実施箇所を選択して森林所有者と町行造林契約締結(分収林契約)を行なった後、竹林から広葉樹林へと再生を図る事業です。

「老朽危険空き家対策事業」の実施要綱定まる

この要綱は懸案であった空き家対策事業で、地域の防災及び防犯等の向上をはかるため、長年にわたって使用されず、適正に管理されていない老朽危険空き家のうち、所有者からその建物及び土地を町に寄付等がなされたものを除去する事業です。

事業の流れ

調査申込書の提出↓調査委員会↓調査報告↓寄付等の申し出↓所有者に通知↓撤去

臨時会(7月9日)

用地取得に伴う乙犬中園線道路の追加工事

乙犬中園線道路改良工事について、未買収であった道路用地が地権者との交渉がまとまり、その用地取得に伴う工事を追加するものです。また、工事施工に伴い、水道管や下水道マンホール・電柱などの移転等を追加する必要が生じました。

既存の額に1842万1500円を増額し、総額は1億504万5150円となります。

議決結果一覧表

[○：賛成 ●：反対]

議案番号	議案名	村瀬 敬太郎	飯田 浩一	今長谷 武和	横山 久義	大楠 英志	草場 謙次	阿部 寛治	松田 國守	阿高 紀幸	後藤 百合子	荒牧 泰範
7月9日臨時会	36	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月定例会	37	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	38	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	39	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	40	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	41	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
	42	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	43	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
	44	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	45	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	46	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	請願1号	「少人数学級推進」、「義務教育費国庫負担制度拡充」を国の関係機関に求める意見書提出に関する請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書案2号	地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

議案第41号 反対討論

横山議員

本案は社会体育館改修工事について変更契約を締結するため議会の議決を求められたものです。

ただ、この工事は業者指名基準や発注基準を定めた要綱等を無視していたことから、契約締結に反対した経緯があり、今回も反対致します。

また説明によりますと、地盤の隆起に対し、梁を補強する工事を追加するとありますが、設計を実施する際、地盤の特殊性は分かっていたにも拘わらず、梁の補強を追加しなければならぬこと自体理解に苦しみます。

今後設計事務所を指名する場合、その力量を十分考慮されることを強く要望し反対討論とします。

議案第43号 反対討論

横山議員

本案の平成23年度篠栗町歳入歳出決算のうち一般会計についてのみ認定に反対し、その立場で意見を申し上げます。

本決算には平成23年度一般会計補正予算（第6号）に対する反対討論で意見を申し上げました、総合保健福祉センターのバイオマスボイラー建設費が含まれております。

バイオマスボイラーの設置そのものには反対する理由はありませんが、設計・積算について、疑問があるまま建設された施設に要した支出を認めるわけにはいきません。従いまして、本議案の認定には反対致します。

バイオマスタウン先進地に学ぶ

林活議連 研修報告

8月28日～29日

* 視察先 岡山県真庭市
* 全議員12名と事務局職員1名

真庭市は岡山県北部に位置し、北は鳥取県に接している。平成17年に9町村の合併により誕生。人口5万人あまり。総面積は828km²で森林面積はその79%を占めています。

真庭のバイオマスタウン構想の起源は1993年に地元若手経営者やリーダーたちが中心となり、「21世紀の真庭塾」を組織したのが始まりといわれ、循環型社会が叫ばれるようになった今より、20年も前になります。



集積基地



研修風景

真庭地域では製材所から出る年間約7万8千トンの木質副産物が発生していたため、有効利用することを考えたのが、木質資源の循環系でした。それまでの製材クズや廃材などを燃料ペレットに変えて、地域内で他産業にも参加してもらい循環させる方法です。

視察研修は「社団法人・真庭観光連盟」が主催するバイオマスタウン・真庭に応募する形で行ないました。

わが町でも林業活性化のため、間伐材を活用した木質バイオマス利用の拡大を推進するなど、継続して調査・研究を行なっています。

【視察先と内容】

- ① 勝山町並み保存地区 視察
- ② バイオマスタウン構想の概要説明
- ③ 製材工場でのエコ発電とペレット製造施設見学
- ④ 原料の集積基地（産業団地内）
- ⑤ 真庭市役所（チップボイラーでの冷暖房・太陽光発電設置など）



地産木材を使った回廊（市役所前）

まみずピア・北筑昇華苑を現地視察

6月29日、総務建設・文教厚生両常任委員会は合同で、町外公共施設を視察しました。

福岡市東区奈多にある海水淡水化センター（通称 まみずピア）と古賀市にある北筑昇華苑の2施設の設備および運用状況等について、担当者から説明を受けました。



北筑昇華苑にて機械設備の説明を受ける



海水をろ過し、真水にする装置の一つ（まみずピア）

9月12日、5人の議員が一般質問をしました。

ここをどうする!?

一般質問とは、議員が執行部に、政策方針などについて、報告や説明を求め、所信や疑問を尋ねることです。ここに掲載したのは要約です。



飯田 浩二

ご当地ナンバープレートの導入検討は

町長「引き続き検討する」

問……………

昨年9月の一般質問で、バイクのナンバープレートに、篠栗町をPRする「ご当地ナンバープレート」の導入を提案しました。「在庫がたくさんあるから今後検討する」との答弁を頂いておりましたが、今年7月、新たに発注されたと聞きました。在庫が少なくなった時点で導入の検討はされましたか。また、導入した場合の製作費と今回の発注経過および、導入が見送られた理由

をお聞かせください。

今年、商工会青年部が、ゆるキャラの『くりみん』を誕生させました。篠栗町がこれまで霊場のまちとして知られてきた以外に、町内外に向けて新たなアピールの発信が始まったのではないのでしょうか。この機会を大切に考えられ、ご当地ナンバープレートの導入を再検討していただくことを願います。

答【町長】

原版を新しく作成すれば約150万円、現在使用している原版を一部変更すれば100万円程度、またナンバープレートの制作単価が1枚110円から350円に上がります。現在の財政状況または費用対効果を考えますと、すぐに導入する必要がない。しか

し、我が町篠栗をアピールしていくことは大変大事なことです。今後も引き続き検討してまいります。

郷の原地区の公衆トイレは

町長「花見や散策に訪れる観光客のため」

問……………

現在建設中の郷の原地区の公衆トイレは、「駐車スペースも少なく利用しにくい」「維持管理も難しい」と、近隣住民の方たちはかなり不満を持っておられます。あえて今の場所に建設されるには、何か中・長期的な計画があつて遂行されていると考えると考

す。地元の方たちが納得されるよう説明をお願いします。

答【町長】

郷の原地区の公衆トイレ建設は、平成18年度から観光審議会に諮り、優先順位1位として新吉野公園周辺に建設することとしておりましたが、候補地の近隣住民の同意が得られず、滞っております。トイレの設置場所は、新吉野公園に花見や散策に訪れる観光客のため造成費用が最小限で駐車場が確保できるトイレとして建設していきます。



財政力低下に歯止めを

町長「21世紀型の姿を描いて実現」



荒牧 泰範

問

健全財政を目指すこと謳われ町長就任から約8年になりますが、財政的な数値を見ると、国の施策による扶助費の増加は如何ともし難いとして、公債費で以前は、臨時経済対策債の採用や繰上償還のより高い交付税算入率での返済でした。

人口増及び地方税増額のための誘致等が行われていないために横這い状態です。経常収支比率や実質公債費比率は悪化し、基金残高は6億円以上減少しています。

まだまだ、他の自治体に比べ健全な運営状態ではありませんが、篠栗町としては近年において最悪の状態と思います。

そこで、これからの町づくりに成さねばならない財政力向上の具体的な改善策をお示し頂きたいと思えます。

答【町長】

繰上償還は平成19年度から5年間で9億9000万円行っております。

しかしながら今後も厳しい見通しが続き、平成26年度までは、約11億円を超える償還に

なることや、平成29年度には2億円弱の一般財源の投入見込みです。財政力指数は0.5から0.53の間で推移し経常収支比率は平成19年度の95.4%をピークに昨年は89.0%に減少し改善しております。

え、健全財政の基盤づくりになると考え行政運営を進めていきます。素晴らしい自然環境を生かす市街化開発環境に配慮したバイオマス関連企業の誘致などを推し進めてまいりたいと考えております。

基金残高の減少は平成21年度の豪雨災害の復旧に充てるため4億6700万円の取崩しが大きな要因です。

今後の財政運営を考えますと、公債費については歳出削減に努め基金の繰り入れも視野に入れ、積極的に繰上償還を行うことが重要です。税収増加が見込める施策についても検討していきたいと考えます。

高齢化社会でいかにして高齢者に元気に楽しく過ごしてもらおうことが医療費の伸びを抑



2期目の成果と総括を問う

町長「大きな成果を生んでいる」



大楠 英志

問.....

観光の目玉は森林セラピー基地オープンと考えます。現況と実績を尋ねます。

答【町長】

セラピー体験者は22年度から8月末まで1104人です。案内人の会「森の風・篠栗」を発足させ、観光資源である八十八ヶ所を巡る企画を実施するなど、新たな開拓にも取り組んでいます。またマスコミにも取り上げられ認知度や需要も高まっています。豊かな自然環

境や歴史文化と調和したわが町に、森林セラピーは有効な施策と確信しています。

問.....

篠栗町は健康なお年寄りが多く、高齢者の医療費や介護認定率が低いと聞きます。対策や事業の報告を求めます。

答【町長】

「元気もんアンケート」調査では、1909人の方に活動量計を身につけてもらい、その結果から自治活動やボランティア活動に参加している人は、心と身体の健康に役立つこととなります。いきいきサロンや介護支援ボランティア制度等は、高齢者の社会参加に繋がっており、健康なお年寄りが多い要因の一つです。

問.....

篠栗町を訪れる方から「森林が整備されていて気持ちが良い」と褒めていただきます。事業実績の報告を求めます。

答【町長】

平成20年度から森林整備事業を始め、23年度までに森林整備面積は142,25haです。事業費は6704万円で全て県補助金です。整備された森林は治山・治水・環境の保全機能に十分な効果をあげています。

問.....

町の課題と二期目の総括を尋ねます。

答【町長】

人口減少が予想されます。少子高齢化の進行により、高齢化率の増加は避けられません。

20〜40歳までの人口維持を図り、少子高齢化の進行を防ぐと共に、町の活力を維持することです。

限られた予算の中で効率的な配分とメリハリの利いた、行財政運営を行なっていきます。

二期目の柱に「環境」「健康」「観光」を唱えてきました。「森林セラ

ピー基地」バイオマスボイラーによる再生可能エネルギー使用の取り組みも一つです。「協働のまちづくり」

は就任以来意識している重要な視点です。「協働のまちづくり補助金制度」は少ない事業費で大きな効果を生んでいます。



森林セラピー基地「落陽コース」

児童・生徒の熱中症対策を問う

町長「事例を提供しながら進める」



後藤 百合子

問

近年大変な猛暑で熱中症が社会問題となっています。

その対策にミストシャワーの設置が進められています。

昨年の東日本大震災後の計画停電時では、真夏の熱中症予防に省エネ効果のあるミスト冷房が用いられ、設置が急速に進んできました。

当町では学校の暑さ対策は扇風機や、グリーンカーテンなど屋内対策をメインにされましたが、猛暑の中での部

活や体育時に1人も熱中症被害者を出さないために屋外の対策を考へねばと思っています。

来年に向け、小中学校に、猛暑対策の効果が望めるミストシャワーの設置を推進してはいかがでしょうか。

導入されればその効果は教育現場だけにとどまらず、夏場の災害時など、体育館や避難所等での過酷な状況下であっても、熱中症から免れ、ミスト冷房効果で大いに癒されると思います。町長のご所見を伺います。

答【町長】

町内の各学校は、熱中症予防として普段からの体調管理に努めております。十分睡眠や休憩をとることや多量に汗をかいたときの対応として、水分や塩分

を補給・補充したり、

長い時間、直射日光に当たるのを避け、通風を確保するよう児童・生徒に指導いたしております。

このほか学校がそれぞれ工夫して植栽していますグリーンカーテン設置や小学校運動場の芝生化は、直射日光の軽減や照り返しの減少などの効果を生み、熱中症予防に一役買っています。

また、全教室に設置している扇風機が教室の熱のこもりを防ぎ、教室環境を快適にしているようです。

ミストシャワーも、噴霧した水の気化熱で周辺温度を下げることから、屋外での運動後等の熱中症予防に効果があると言われております。

教育委員会とも協議しながら、小中学校長会を通じて、設置場所、

費用、活用方法等、事例を提供しながら熱中症予防を進めたいと考えています。



なぜ「財政を立て直した」と発言されたのか

町長「起債残高を減らした事実を言ったまで」



横山 久義

問……………

町長は、11月に実施されます選挙に出馬する旨の発表をされ、記者会見を行われました。その際、町債を30億円減らすなど財政を立て直したと事実とかけ離れた発言をされたようですが、私には到底理解できません。

政を立て直したなどと町民に判断を誤らせるような発言をされたのか説明願います。

答【町長】

町財政につきまして、昨年12月議会の一般質問でお答えしたとおりです。

将来における負担となる借金を減らすべく努力し、23年度末で100億円を切る事ができたという事実を言ったまでのごとです。国政がどのようなものになるかわからない時代の中で、今後も厳しい財政運営が予想されますので、さらなる事業の見直しなど、一層の行財政改革に努めたいと思います。

次期ゴミ処理施設設計画は

町長「10年間延長することを基本に考えています」

問……………

町道乙犬切通線の用地買収時における地権者との残地についての約束に関し、地権者の土地売買契約書を確認したところ、町外の地権者にだけ残地に関する約束が追加されていました。土地売買契約書に関係ない土地の約束ごとを記すことは常識外れです。なぜ町外地権者のみ文書で約束されたのか説明願います。

答【町長】

残地の約束について、別段の文書による約束をした経緯はございません。

せんと答えました。受け取り方の違いではないかと思っております。

土地売買契約書に、他の地権者からも要望があつております残地について努力しますと書いています。他者との均衡は保っていると判断しております。

問……………

町長は24年度中に次期プラント建設に関し大筋の目処を立てると発言されていますが、現時点の進捗状況を説明願います。

答【町長】

「クリーンパーク施設の運用を大きな方針とし、平成30年度から10年間程度の延長を基本

的に考えます」とクリーンパーク議会でも話したところでございます。

糟屋5町の覚書に基づき、今後5年間で協議してまいります。



クリーンパークわかすぎ

輝く まちの宝!



12月議会は

12/10日 開会

12/12日 一般質問

の予定です

お気軽に傍聴にお越し下さい



浴衣でうふふ♪

母になり、初めて子に浴衣を着せました。難しかったです。
(上甲 智美様からの投稿)

あなたの写真を議会だよりに載せてみませんか?

応募要領

採用された方には、粗品を進呈します。

- テーマ 今年度はこども中心の写真です。
- 応募方法
 - ①作品はすべてプリントしたもの。(カラーのみ)
 - ②サイズ/A4、六切、四切
 - ③撮影場所、日付、写真説明(タイトル含む)、住所、氏名、電話番号を明記。
- 応募上の注意
 - ①作品は自作・未発表のものに限ります。
 - ②作品は原則として返却しません。
 - ③人物を撮影する場合、必ず本人の同意を得てください。当発行者は肖像権等の責任は負いかねます。
 - ④採用された作品の著作権は、発行者に帰属し、出版物、ホームページなどで使用します。
- 送付先
 - 篠栗町議会まで郵送ください。
 - (問い合わせ先は、役場3F 議会事務局まで)

委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長	議会広報編集特別委員会	議長	発行責任者
村瀬敬太郎	今長谷武和	大楠英志	松田國守	飯田浩二	後藤百合子		今泉正敏	今長谷 武和

感動の坩堝と化した五輪の暑い夏が終わり、季節は晩秋を迎えました。メダル獲得数史上最高の活躍に、惜しめない拍手を送った方も多かった事でしょう。今大会の各競技で有終の美を飾ったアスリート達は「目標を持ち努力すれば夢は必ず叶う」と熱く語っていました。

その言葉は、様々な災害の続く日本で復興を図る人々の心にどれ程の感動を刻んだのかと思いを馳せます。

私は全力で戦ったアスリート達のメッセージで人々が鼓舞し、それが現代社会において夢を叶える原動力になる事を強く願っています。

今長谷 武和



平成24年11月1日発行

発行/篠栗町議会 福岡県糟屋郡篠栗町大字篠栗4855-5 TEL092-947-1111 FAX092-947-1442



議会だよりは環境保護のため再生紙を使用しています
環境保護のために、水なし印刷・大豆インクを使用しております。

印刷/株式会社三光